令和７年度

中心市街地のにぎわいに関する調査

鹿児島市中心市街地活性化協議会

目次

調査概要…… 1

地区別集計結果…… 5

業種別集計結果……10

その他　経営・環境変化等について……15

【調査票】……20

【データ編】……23

Ⅰ．調査概要

１．調査の目的

鹿児島市では、中心市街地のにぎわい創出や商業等の活性化を図ることを目的に、第４期鹿児島市中心市街地活性化基本計画（令和６～令和 10 年度の５ヵ年計画）を策定し、これまで毎年度、事業の進捗状況や目標指標の達成状況等を把握するためフォローアップを行っている。

このフォローアップにおいて、中心市街地の雰囲気や来街者・商業者の声などの数値に現れない定性的な内容についても把握するため、商業者が感じている中心市街地のにぎわいの状況等についてアンケート調査を実施した。

２．調査の対象

〈対象地区〉　①いづろ・天文館地区
②鹿児島中央駅地区
③上町・ウォーターフロント地区

〈対象の業種〉①卸・小売業
②飲食・宿泊業
③その他サービス業

〈事業者数〉　302 事業所

３．調査の方法

アンケート調査票による

４．調査の時期

令和７年 10 月～11 月

５．調査結果の留意事項

百分比については、四捨五入の関係で、割合の合計値が一致しない場合がある。

令和７年度中心市街地のにぎわいに関する調査報告

令和７年 10 月から 11 月までの間に実施した中心市街地商業者アンケート調査の結果についてまとめた。

１　調査概要

(1) 調査期間：令和７年 10 月から 11 月までの２か月間

(2) 調査件数：計 302 件

➢地区別・業種別内訳：下表のとおり（※（　）内は合計件数に対する割合）

地区別・業種別内訳：下表のとおり

地区 業種	鹿児島中央駅地区	いづろ･天文館地区	上町･ウォーターフロント地区	合計【業種別】
卸･小売業	39 件 (12.9%)	102 件 (33.8%)	14 件 (4.6%)	155 件 (51.3%)
飲食･宿泊業	15 件 (5.0%)	70 件 (23.2%)	５件 (1.7%)	90 件 (29.8%)
その他サービス業	24 件 (7.9%)	28 件 (9.3%)	５件 (1.7%)	57 件 (18.9%)
合計 【地区別】	78 件 (25.8%)	200 件 (66.2%)	24 件 (7.9%)	302 件 (100.0%)

(3) 調査方法：店舗・事業所にアンケート調査用紙を郵送又はメール（FAX・メール・対面で回収）。

２　集計結果

(1) 集計結果について

①　中心市街地のにぎわい（人通りや活気）について

５年前と比べたにぎわいの状況は、「活気が増している」＋「どちらかといえば活気が増している」の割合から「元気がなくなってきた」＋「どちらかといえば元気がなくなってきた」の割合を差し引いた D.I.※で表すと 16.2（前回調査 3.9）となっており、５年前よりもにぎわいの状況が好転したと感じている商業者の方が多かった（前回調査よりプラス幅は大幅に増加した）。５年前のコロナ禍における外出自粛などの状況も影響していると考えられる。

②　中心市街地の商業面での魅力（商業施設、商店街イベント等）について

５年前と比べた商業面での魅力の状況は、「魅力が向上した」＋「どちらかといえば魅力が向上した」の割合から「魅力が低下した」＋「どちらかといえば魅力が低下した」の割合を差し引いた D.I.は 28.5（前回調査 20.7）となっており、商業面での魅力は５年前よりも向上したと感じている商業者の方が多かった（前回調査よりプラス幅は 7.8 ポイント拡大）。

※D.I.：Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略。企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの各種判断を指数化したもの。

D.I.＝（プラスの回答件数構成百分比）－（マイナスの回答件数構成百分比）

③　中心市街地の様子について

項目毎のD.I.及びこの結果から考えられることは以下のとおり。

項目		D.I.	
		令和７年	前回調査
1　人通りの様子について	(1) 人通り全般	7.9	▲7.1
	(2) 外国人観光客	86.4	64.7
	(3) 若者	0.7	▲14.9
2　商店街の様子について	(1) 魅力ある店舗	▲7.9	▲11.7
	(2) 空き店舗	57.0	64.4
3　イベントの状況について	(1) 商店街のイベント	12.6	1.6
	(2) 観光客向けのイベント	▲12.9	▲32.4
4　まちの状況について	(1) 街並	28.1	28.5
	(2) 公園、憩いの場	12.3	22.7
	(3) 交通の便	▲38.1	▲39.8
5　貴店の状況について	(1) 売上	▲2.3	▲21.0
	(2) 人手不足の状況	33.4	32.4

➢1　人通りの様子について

人通り全般については、7.9となり、令和に入りマイナスが継続していたが、プラスに転じた。特徴的なことは、外国人観光客が86.4（前回調査64.7）となり昨年に続き大幅なプラスを維持している。若者についても、令和に入り初めてマイナスの状況から脱した。

➢2　商店街の様子について

魅力ある店舗はマイナス（▲11.7⇒▲7.9）が続き、空き店舗は引き続き多くの商業者が多い（64.4⇒57.0）と感じている。問５の自由記述でも空き店舗対策を課題にあげている商業者が多かった。

➢3　イベントの状況について

商店街イベントは昨年調査で 1.6 とプラスに転じた後、プラス幅が拡大した。ただ、観光客向けのイベントはまだ十分でないと感じている商業者が多かった。ちなみに、観光客向けは▲12.9（同▲32.4）となり、依然、マイナスが続いている。

➢4　まちの状況について

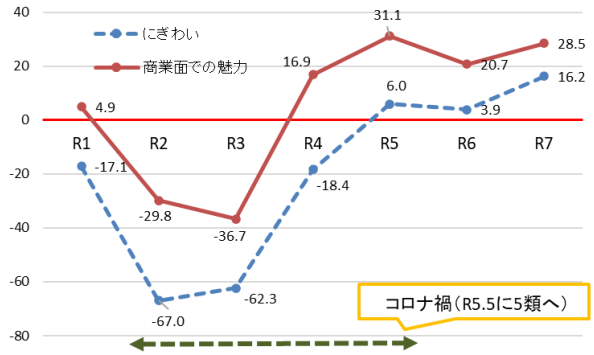
街並み・景観のきれいさ、公園、憩いの場は充実したと感じる一方で、交通の便に関してはマイナス幅が大きく（▲39.8⇒▲38.1）し、引き続き不便になったと感じている商業者が多かった。

➢5　貴店の状況について

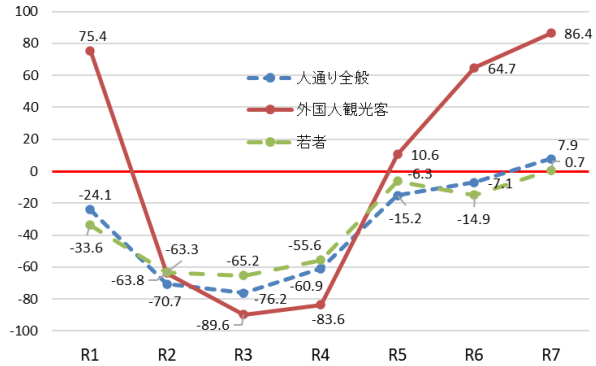
売上はマイナス幅が縮小したが、人手は昨年に引き続き33.4（前回調査32.4）となり、不足していると感じている商業者が多かった。

（参考）令和以降のD.I.値の経年年化（問１～３）

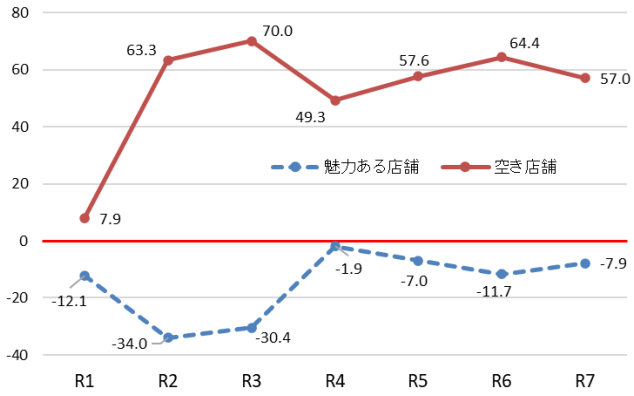
【にぎわい（人通りや活気）と商業面での魅力】



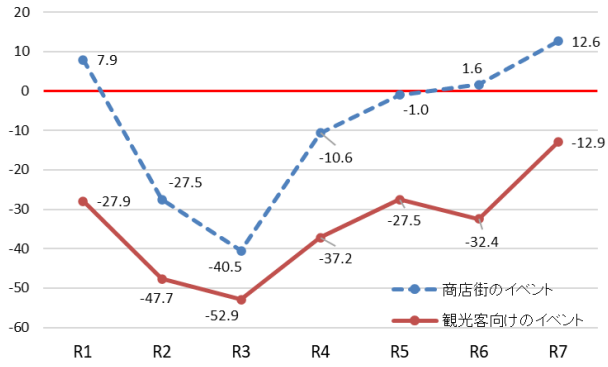
【人通りの様子について】



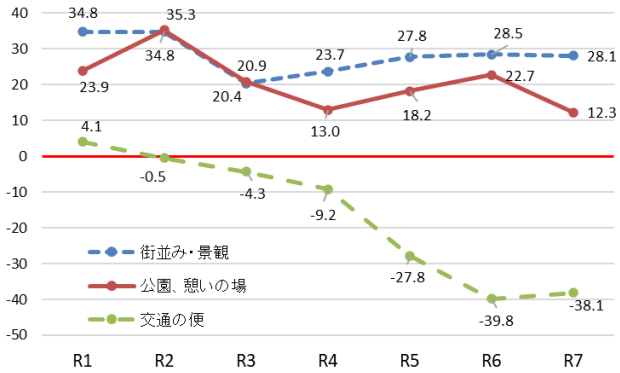
【商店街の様子について】



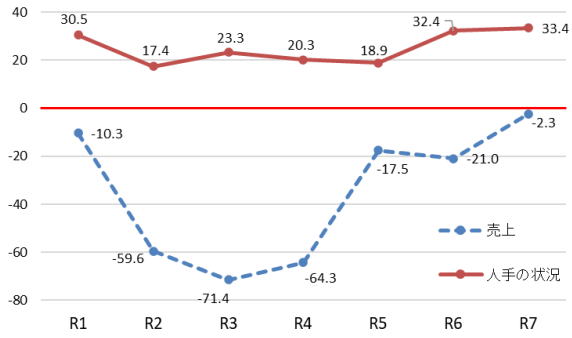
【イベントの状況について】



【まちの状況について】



【貴店の状況について】



注：調査月は各年まちまちだが、概ね各年 9～12 月頃

④　中心市街地はどんなまちであってほしいかについて

「魅力ある店舗や飲食店があるまち」87.1％（前回調査80.6％）が最も多く、８割を超えた。次いで「安心・安全に暮らせるまち」77.2％（同74.4％）、「公共交通機関の利便性が高いまち」68.9％（同 66.7％）の順であった。

(2) 地区別の集計結果について

アンケート調査を行った店舗は地区別に、鹿児島中央駅地区 78 件（25.8%）、いづろ・天文館地区 200 件（66.2%）、上町・ウォーターフロント地区 24 件（7.9%）であった。

① 中心市街地のにぎわい（人通りや活気）について

各地区の D.I.は、数字が大きい順に、鹿児島中央駅地区が 37.2（前回調査 38.4）、いづろ・天文館地区 11.0（同▲12.1）、上町・ウォーターフロント地区▲8.3（同 0.0）であった。

いづろ・天文館地区ではプラスに転じた一方で、上町・ウォーターフロント地区はマイナスとなりにぎわいが減ってきていると感じている商業者が多かった。鹿児島中央駅地区では、昨年に引き続きプラス幅は大きく、他地区との差異がみられた。

② 中心市街地の商業面での魅力（商業施設、商店街イベント等）について

各地区の D.I.は、数字が大きい順に、鹿児島中央駅地区 47.4（前回調査 46.5）、いづろ・天文館地区 23.0（同 10.4）、上町・ウォーターフロント地区 12.5（同 12.0）であった。

鹿児島中央駅地区、いづろ・天文館地区及び上町・ウォーターフロント地区いずれも前回調査と比較するとプラス幅が拡大（商業面での魅力が向上）した。鹿児島中央駅地区は高い水準を維持しつつ、いづろ・天文館地区も 12.6 ポイント向上し、魅力が向上したと感じている商業者が増加している。

③　中心市街地の様子について

項目		中央駅	いづろ・天文館	上町・ウォーターフロント
1　人通りの様子について	(1) 人通り全般	37.2	0.0	▲20.8
		(17.4)	(▲16.2)	(▲18.0)
	(2) 外国人観光客	88.5	85.0	91.7
		(59.3)	(65.9)	(70.0)
	(3) 若者	24.4	▲8.5	0.0
		(5.8)	(▲20.8)	(▲30.0)
2　商店街の様子について	(1) 魅力ある店舗	20.5	▲20.5	4.2
		(17.4)	(▲23.7)	(▲20.0)
	(2) 空き店舗	25.6	67.5	70.8
		(40.7)	(74.0)	(72.0)
3　イベントの状況について	(1) 商店街のイベント	11.5	15.0	▲4.2
		(20.9)	(▲4.6)	(▲10.0)
	(2) 観光客向けのイベント	▲5.1	▲12.5	▲41.7
		(▲15.1)	(▲37.0)	(▲46.0)
4　まちの状況について	(1) 街並・景観	30.8	29.5	8.3
		(36.0)	(24.3)	(30.0)
	(2) 公園、憩いの場	6.4	14.0	16.7
		(24.4)	(22.5)	(20.0)
	(3) 交通の便	▲32.1	▲40.0	▲41.7
		(▲31.4)	(▲47.4)	(▲28.0)
5　貴店の状況について	(1) 売上	16.7	▲9.5	▲4.2
		(▲20.9)	(▲18.5)	(▲30.0)
	(2) 人手不足の状況	32.1	35.0	25.0
		(31.4)	(33.5)	(30.0)

注：(　)内は前回調査（令和6年 10 月～11 月）

項目毎・地区毎のD.I.及びこの結果から考えられることは以下のとおりである。

1　人通りの様子について

鹿児島中央駅地区では、全ての項目で「増えた」という回答が多かった。他の地区では、外国人観光客は「増えた」（プラス幅拡大）一方、人通り全般、若者がゼロないしマイナスとなり、「減った」と感じている商業者が多かった。若者については、いづろ・天文館地区、上町・ウォーターフロント地区ともにマイナス幅は縮小（前者▲20.8⇒▲8.5、後者▲30.0⇒0.0）している。

2　商店街の様子について

鹿児島中央駅地区及び上町・ウォーターフロント地区では、魅力ある店舗が増加してきていると感じている商業者が多かったが、いづろ・天文館地区では「減った」（▲23.7⇒▲20.5）と感じている商業者が多かった。上町・ウォーターフロント地区では、4.2とプラスに転じ、魅力ある店舗が増えたと感じる商業者が増加している。

空き店舗は、いずれの地区の商業者も増加していると感じており、鹿児島中央駅地区（40.7⇒25.6）、いづろ・天文館地区（74.0⇒67.5）、上町・ウォーターフロント地区（72.0⇒70.8）となり、特に後者の２地区が高い。問５の自由記述では、いづろ・天文館地区の回答者で空き店舗対策（リノベ、短期間のレンタル等）を課題に位置付ける意見もみられた。

3　イベントの状況について

商店街のイベントは、上町・ウォーターフロント地区で物足りないという回答が多かった。いづろ・天文館地区及び鹿児島中央駅地区については、「充実してきた」（前者▲4.6⇒15.0、後者 20.9⇒11.5）と感じている商業者が増加している。問５の自由記述では、各商店街のイベントが回遊性の向上につながる等の意見があった。（いづろ・天文館地区）

また、観光客向けのイベントについては、すべての地区で前回調査よりは改善がみられるが「物足りない」と感じている商業者が多かった。特に、上町・ウォーターフロント地区では、「物足りない」という回答が40ポイント超が続いている。

4　まちの状況について

いずれの地区も、街並み・景観のきれいさ、公園、憩いの場については、「きれいになってきた」「充実した」と感じている商業者が多い。ただ、いづろ・天文館地区（24.3⇒29.5）での街並み・景観のきれいさ以外、プラス幅が縮小している。加えて、同地区は、問５の自由記述で公園付近の治安を不安視する声もあった。

また、交通の便については、いずれの地区も「不便になった」という回答が多かった。地区別には鹿児島中央駅地区が（▲31.4⇒▲32.1）、いづろ・天文館地区が（▲47.4⇒▲40.0）、上町・ウォーターフロント地区が（▲28.0⇒▲41.7）となっており、いずれの地区も「不便になった」と感じている商業者が多かった。問５の自由記述でも公共交通の充実を求める意見が多くみられた。

5　貴店の状況について

売上に関しては鹿児島中央駅地区だけがプラス（▲20.9⇒16.7）で他の地区はマイナスとなった。ただ、前回調査よりマイナス幅が縮小している。

人手はいずれの地区においても「不足している」と感じている商業者が多かった。地区別では、いづろ・天文館地区が 35.0（前回調査 33.5）で最も高くなっている。

④　中心市街地はどんなまちであってほしいかについて

	１位	２位	３位
全　体	魅力ある店舗や飲食店があるまち（87.1%）	安心・安全に暮らせるまち（77.2%）	公共交通機関の利便性が高いまち（68.9%）
鹿児島中央駅地区	魅力ある店舗や飲食店があるまち（84.6%）	安心・安全に暮らせるまち（82.1%）	公共交通機関の利便性が高いまち（73.1%）
いづろ・天文館地区	魅力ある店舗や飲食店があるまち（87.5%）	安心・安全に暮らせるまち（74.5%）	公共交通機関の利便性が高いまち（70.0%）
上町・ウォーターフロント地区	魅力ある店舗や飲食店があるまち（91.7%）	安心・安全に暮らせるまち（83.3%）	街並みや景観が美しいまち（75.0%）

全体では、「魅力ある店舗や飲食店があるまち」87.1%（地区別 84.6%、87.5%、91.7%）、「安心・安全に暮らせるまち」77.2%（同 82.1%、74.5%、83.3%）が上位２つ。

鹿児島中央駅地区は、「魅力ある店舗や飲食店があるまち」（84.6%）が最多で、「安心・安全に暮らせるまち」（82.1%）、「公共交通機関の利便性が高いまち」（73.1%）が続いた。

いづろ・天文館地区は、「魅力ある店舗や飲食店があるまち」（87.5%）が最多で、「安心・安全に暮らせるまち」（74.5%）、「公共交通機関の利便性が高いまち」（70.0%）が続いた。

上町・ウォーターフロント地区は、「魅力ある店舗や飲食店があるまち」（91.7%）が最多で、「安心・安全に暮らせるまち」（83.3%）、「街並みや景観が美しいまち」（75.0%）が続いた。

鹿児島中央駅地区といづろ・天文館地区の回答を比較すると、「医療・福祉施設が充実しているまち」で、鹿児島中央駅地区の方が 10.1（前回調査 24.5 ポイント）高かった。逆に、

「観光客でにぎわうまち」では 13.6 ポイント（同 4.4 ポイント）、いづろ・天文館地区の方が高かった。

鹿児島中央駅地区と上町・ウォーターフロント地区を比べると、「歴史や文化を感じられるまち」「医療・福祉施設が充実しているまち」「娯楽・スポーツが楽しめるまち」「公共交通機関の利便性が高いまち」「車で来街しやすいまち」の５つの項目では、鹿児島中央駅地区が10ポイント以上高く、「イベントやお祭りが盛んなまち」「地域住民による活動が活発なまち」の２つの項目では、上町・ウォーターフロント地区の方が 10 ポイント以上高かった。

いづろ・天文館地区と上町・ウォーターフロント地区を比べると、「歴史や文化を感じられるまち」「観光客でにぎわうまち」「娯楽・スポーツが楽しめるまち」「公共交通機関の利便性が高いまち」「車で来街しやすいまち」の５項目でいづろ・天文館地区が 10 ポイント以上高く、「イベントやお祭りが盛んなまち」「街並みや景観が美しいまち」「地域住民による活動が活発なまち」の３項目では、上町・ウォーターフロント地区の方が 10 ポイント以上高かった。

【地区別の比較】

	中央駅-天文館	中央駅-上町	天文館-上町
魅力ある店舗や飲食店があるまち	▲2.9（▲4.8）	▲7.1(▲0.1)	▲4.2(4.7)
大規模な商業施設があるまち	▲1.4(▲0.5)	2.2(1.8)	3.7(2.2)
イベントやお祭りが盛んなまち	1.1(0.3)	▲10.6(2.5)	▲11.7(2.2)
観光客でにぎわうまち	▲13.6(▲4.4)	▲1.6(2.7)	12.0(7.1)
歴史や文化を感じられるまち	4.3(4.3)	16.3(▲11.0)	12.0(▲15.3)
街並みや景観が美しいまち	9.3(9.1)	▲3.2(3.8)	▲12.5(▲5.3)
公園や広場など憩いややすらぎのあるまち	8.2(1.4)	4.5(▲5.6)	▲3.7(▲7.0)
安心・安全に暮らせるまち	7.6(1.6)	▲1.3(1.6)	▲8.8(0.0)
地域住民による活動が活発なまち	▲0.9(▲3.4)	▲11.9(▲20.6)	▲11.0(▲17.2)
医療・福祉施設が充実しているまち	10.1(24.5)	17.9(16.2)	7.8(▲8.3)
娯楽・スポーツが楽しめるまち	▲4.8(1.9)	11.5(▲2.1)	16.3(▲4.0)
働く場所がたくさんあるまち	▲9.7(▲9.0)	▲2.6(6.9)	7.2(15.9)
公共交通機関の利便性が高いまち	3.1(3.3)	27.2(7.8)	24.2(4.5)
車で来街しやすいまち	▲4.8(▲8.5)	16.3(10.0)	21.2(18.5)

注１：中央駅＝鹿児島中央駅地区、天文館＝いづろ・天文館地区、上町＝上町・ウォーターフロント地区
注２：中央駅-天文館の例
「魅力ある店舗や飲食店があるまち」84.6%（中央駅）－87.5%（天文館）＝▲2.9
注３：（　）内は前回調査

(3) 業種別の集計結果について

アンケート調査を行った店舗を卸・小売業 155 件（51.3%）、飲食・宿泊業 90 件（29.8%）、その他サービス業 57 件（18.9%）の３業種に区分した。

① 中心市街地のにぎわい（人通りや活気）について

各業種のD.I.は、数字が大きい順に、卸・小売業 17.4（同▲4.0）、その他サービス業 15.8（前回調査 40.0）、飲食・宿泊業 14.4（同▲6.7）であった。

いずれの業種も「活気が増している」「どちらかといえば活気が増している」と感じている商業者が多かった。卸・小売業及び飲食・宿泊業では、前回調査のマイナス（元気がなくなってきた）からはプラスに転じている。

② 中心市街地の商業面での魅力（商業施設、商店街イベント等）について

各業種のD.I.は、数字が大きい順に、卸・小売業 30.3（同 19.5）、飲食・宿泊業 26.7（同 9.3）、その他サービス業 26.3（同 38.3）、であった。

いずれの業種も、魅力が向上していると感じている商業者が多かった。

③　中心市街地の様子について

項目		卸・小売り	飲食・宿泊	その他サービス
1　人通りの様子について	(1) 人通り全般	9.7	12.2	▲3.5
		(▲9.8)	(▲25.3)	(23.3)
	(2) 外国人観光客	89.7	82.2	84.2
		(60.9)	(58.7)	(83.3)
	(3) 若者	▲1.3	6.7	▲3.5
		(▲16.7)	(▲21.3)	(▲1.7)
2　商店街の様子について	(1) 魅力ある店舗	▲9.7	▲6.7	▲5.3
		(▲14.9)	(▲28.0)	(18.3)
	(2) 空き店舗	64.5	48.9	49.1
		(64.9)	(66.7)	(60.0)
3　イベントの状況について	(1) 商店街のイベント	14.8	8.9	12.3
		(▲ 2.3)	(▲4.0)	(20.0)
	(2) 観光客向けのイベント	▲15.5	▲15.6	▲1.8
		(▲40.8)	(▲21.3)	(▲21.7)
4　まちの状況について	(1) 街並・景観	28.4	33.3	19.3
		(27.6)	(22.7)	(38.3)
	(2) 公園、憩いの場	8.4	22.2	7.0
		(20.1)	(26.7)	(25.0)
	(3) 交通の便	▲40.6	▲35.6	▲35.1
		(▲39.7)	(▲40.0)	(▲40.0)
5　貴店の状況について	(1) 売上	▲9.0	12.2	▲7.0
		(▲34.5)	(2.7)	(▲11.7)
	(2) 人手不足の状況	29.7	42.2	29.8
		(28.7)	(45.3)	(26.7)

注:(　)内は前回調査(令和6年9月～令和6年10 月)

項目毎・業種毎のD.I.及びこの結果から考えられることは以下のとおりである。

1　人通りの様子について

人通りの様子については、いずれの業種でも外国人観光客が「増えた」という回答が 50 ポイント超（82.2（飲食・宿泊業）～89.7（卸・小売業））と大幅に増加した。逆に、若者は、卸・小売業▲1.3（前回調査▲16.7）、その他サービス業▲3.5（同▲1.7）と引き続きマイナスとなった。

人通り全般は、卸・小売業で、9.7（同▲9.8）、飲食・宿泊業では 12.2（同▲25.3）とプラスに転じた。逆に、その他サービス業では▲3.5（同23.3）となり、マイナスに転じた。

2　商店街の様子について

魅力ある店舗については、卸・小売業▲9.7（同▲14.9）及び飲食・宿泊業▲6.7（同▲28.0）でマイナス幅が縮小した半面、その他サービス業で▲5.3（同18.3）となりマイナスに転じた。

空き店舗はいずれの業種も増加していると感じている商業者が多かった。前回調査と比較すると、飲食・宿泊業で 17.8 ポイント（同 66.7⇒48.9）、その他サービス業で 10.9 ポイント（同 60.0⇒49.1）、卸・小売業で 0.4 ポイント（同 64.9⇒64.5）、と全ての業種でマイナス幅は縮小しているものの、依然「増えた」と感じている商業者が多かった。

3　イベントの状況について

商店街イベントについては、卸・小売業（同▲2.3⇒14.8）、飲食・宿泊業（同▲4.0⇒8.9）、その他サービス業（同20.0⇒12.3）となり、いずれの業種でもプラス（充実してきた）となった。

観光客向けのイベントについては、全ての業種でマイナスとなり、物足りないと感じている商業者が多かった。

4　まちの状況について

いずれの業種においても、街並み・景観のきれいさ、公園、憩いの場が充実していると感じている商業者が多かった。交通の便では、いずれの業種でも不便になったと感じている商業者が多く、前回調査と比較すると、卸・小売業で、0.9 ポイント増加（前回調査▲39.7⇒▲40.6）、飲食・宿泊業で 4.4 ポイント減少（同▲40.0⇒▲35.6）、その他サービス業 4.9 ポイント減少（▲40.0⇒▲35.1）している。問５の自由記述では、市電の利便性向上（スマートライン化⇒車より便利）等の意見があった。

5　貴店の状況について

売上は、飲食・宿泊業で順調（前回調査2.7⇒12.2）だった以外、他の２業種において依然マイナス（マイナス幅は縮小）となっている。卸・小売業で（▲34.5⇒▲9.0）、その他サービス業で（▲11.7⇒▲7.0）であった。

人手については、いずれの業種とも不足していると感じている商業者が多かった。卸・小売業で、1.0ポイント増加（同28.7⇒29.7）、飲食・宿泊業で3.1ポイント減少（同45.3⇒42.2）、その他サービス業3.1ポイント増加（26.7⇒29.8）となっている。

④　中心市街地はどんなまちであってほしいかについて

いずれの業種も「魅力ある店舗や飲食店があるまち」が 87.1%（卸・小売業 85.2%、飲食・宿泊業91.1%、その他サービス業86.0%）で最も多かった。

卸・小売業は、「安心・安全にくらせるまち」76.1%（前回調査75.3%）、「公共交通機関の利便性が高いまち」67.1%（同67.8%）と続いた。

飲食・宿泊業も同様に「安心・安全にくらせるまち」77.8%（同 74.7%）、「公共交通機関の利便性が高いまち」71.1%（同68.0%）と続いた。

その他サービス業は、「安心・安全にくらせるまち」「街並みや景観が美しいまち」ともに78.9%（同前者71.7%、同後者同75.0%）、「公共交通機関の利便性が高いまち」70.2%（同61.7%）と続いた。

卸・小売業と飲食・宿泊業を比較すると、卸・小売業が「車で来街しやすいまち」で 13 ポイント高く、「観光客でにぎわうまち」「歴史や文化を感じられるまち」では、飲食・宿泊業が10ポイント以上高かった。

卸・小売業とその他サービス業を比べると、「働く場所がたくさんあるまち」「車で来街しやすいまち」で卸・小売業が６ポイント超高く、その他サービス業の方が「娯楽・スポーツが楽しめるまち」「公園や広場など憩いややすらぎのあるまち」「街並みや景観が美しいまち」で10ポイント以上（それぞれ20.0、16.5、15.7ポイント）高かった。

飲食・宿泊業とその他サービス業を比べると、「観光客でにぎわうまち」は、飲食・宿泊業の方が10ポイント弱（9.9ポイント）近く高かったが、「街並みや景観が美しいまち」「医療・福祉施設が充実しているまち」「公園や広場など憩いややすらぎのあるまち」「娯楽・スポーツが楽しめるまち」では、その他サービス業が 10 ポイント以上（それぞれ 16.7、16.2、12.6、10.5ポイント）高かった。

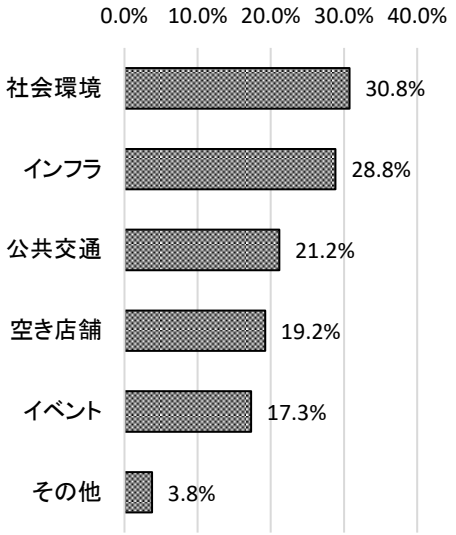
【業種別の比較】

	卸・小売業-飲食・宿泊業	卸・小売業-その他サービス業	飲食・宿泊業-その他サービス業
魅力ある店舗や飲食店があるまち	▲5.9（▲3.9）	▲0.8（▲4.6）	5.1（▲0.7）
大規模な商業施設があるまち	▲8.9（▲5.6）	▲6.3（0.1）	2.6（5.7）
イベントやお祭りが盛んなまち	▲8.2（▲8.9）	▲3.2（▲3.6）	5.0（5.3）
観光客でにぎわうまち	▲16.8（▲6.0）	▲6.9（3.6）	9.9（9.7）
歴史や文化を感じられるまち	▲15.0（▲11.6）	▲7.0（▲23.3）	8.0（▲11.7）
街並みや景観が美しいまち	1.0（0.2）	▲15.7(▲13.5)	▲16.7（▲13.7）
公園や広場など憩いややすらぎのあるまち	▲3.9（3.1）	▲16.5（▲0.9）	▲12.6（▲4.0）
安心・安全に暮らせるまち	▲1.6（0.6）	▲2.8（3.6）	▲1.2（3.0）
地域住民による活動が活発なまち	▲4.2（▲9.2）	▲0.5（▲1.6）	3.7（7.7）
医療・福祉施設が充実しているまち	8.9（9.1）	▲7.3（2.1）	▲16.2(▲7.0)
娯楽・スポーツが楽しめるまち	▲9.5（▲4.8）	▲20.0（▲0.8）	▲10.5（4.0）
働く場所がたくさんあるまち	4.4（▲1.7）	6.7（6.3）	2.2（8.0）
公共交通機関の利便性が高いまち	▲4.0（▲0.2）	▲3.1（6.1）	0.9（6.3）
車で来街しやすいまち	13.4（4.0）	7.7（6.4）	▲5.7（2.3）

注１：卸・小売業-飲食・宿泊業の例
「魅力ある店舗や飲食店があるまち」85.2%（卸・小売業）－91.1%（飲食・宿泊業）＝▲5.9
（小数点以下第２位を四捨五入している関係で表示が異なる場合がある）
注２：（　）内は前回調査

問５　中心市街地のにぎわいに必要と思われることや活性化に向けて課題となっていること（自由記述）（詳細は「データ編」参照）

52 の商業者から回答を得られた。おおまかに課題を分類すると、魅力ある店舗の出店やきれいな（カラス・ハト対策、ポイ捨て等）まちづくり、子どもが気軽に行ける公園の雰囲気づくり（治安が悪い）等々、社会環境に関する課題が約３割を占めた。次いで、インフラ（28.8%）、公共交通（21.2%）、空き店舗（19.2%）、イベント(17.3%)という状況であった。



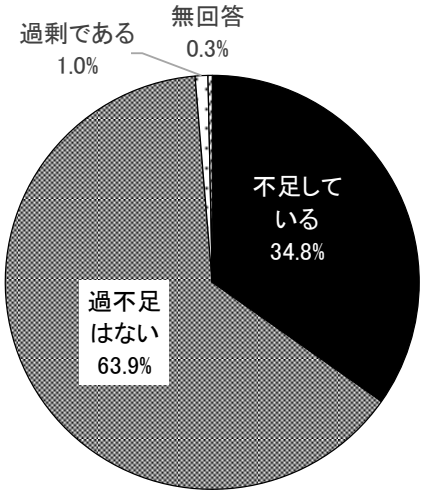
【その他　経営・環境変化等について】

問６　貴社における現在の人員の充足状況について

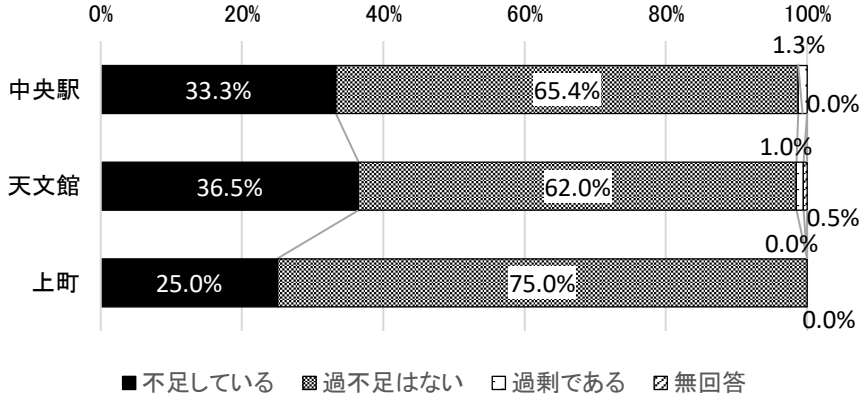
人員の充足状況については、約 35%の事業所で「不足している」と回答した。前回調査 39.8%からは、やや下落も高水準が続いている。

地区別には、いづろ・天文館地区 36.5%（前回調査 45.1%）、業種別には、飲食・宿泊業 40.0%（同 52.0%）で高い割合となっている。

【全体】

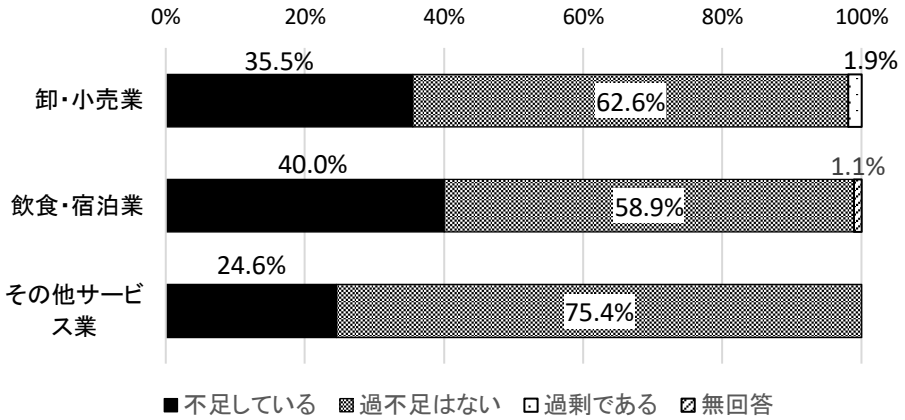


【地区別】



注：中央駅＝鹿児島中央駅地区、天文館＝いづろ・天文館地区、上町＝上町・ウォーターフロント地区

【業種別】



問７　問６で「不足している」と回答した事業者の方へ

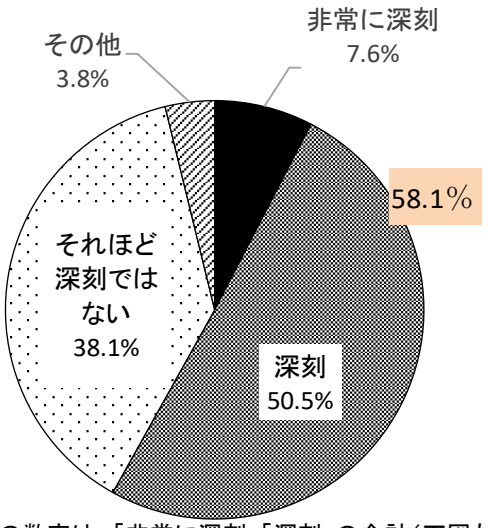
（１）人材不足の深刻度について

人材不足の深刻度については、半数を超える58.1％（前回調査46.4％）の事業所で「非常に深刻」「深刻」と回答した。

地区別には、いづろ・天文館地区60.3％（同47.4％）が高い割合だが、「非常に深刻」だけみると、上町・ウォーターフロント地区が33.3％と高い（ただし、サンプル数が６と少ない）。

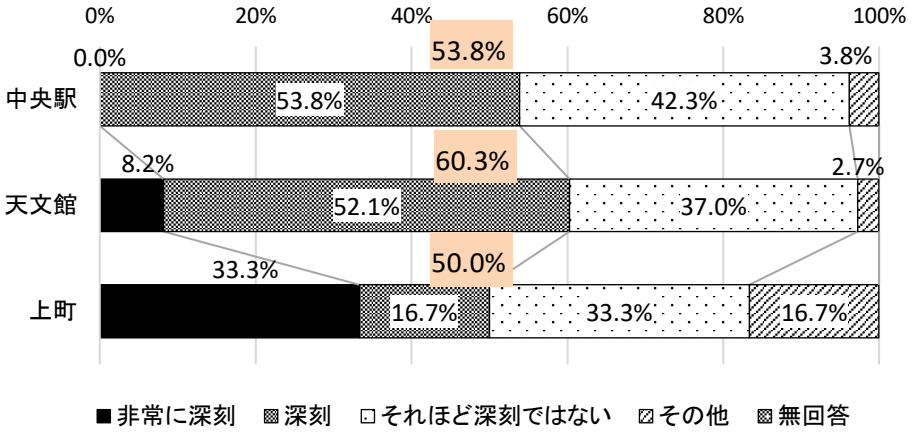
業種別には、飲食・宿泊業が 61.1％（同 38.5％）で高い割合となっている。

【全体】



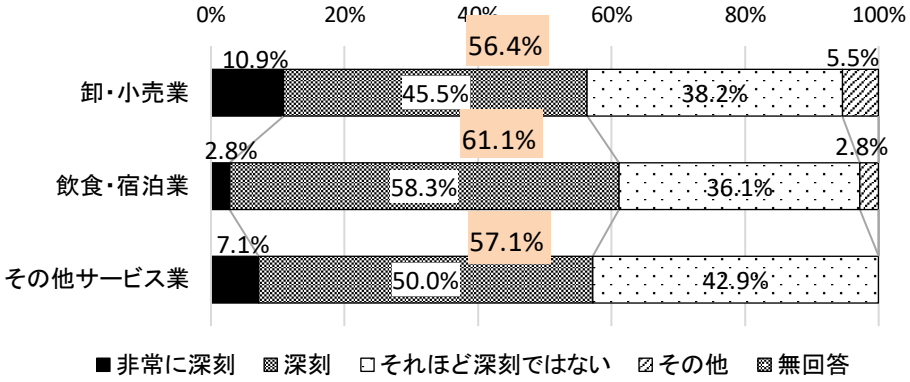
注：　の数字は、「非常に深刻」「深刻」の合計（下図も同様）

【地区別】



注：中央駅＝鹿児島中央駅地区、天文館＝いづろ・天文館地区、上町＝上町・ウォーターフロント地区

【業種別】



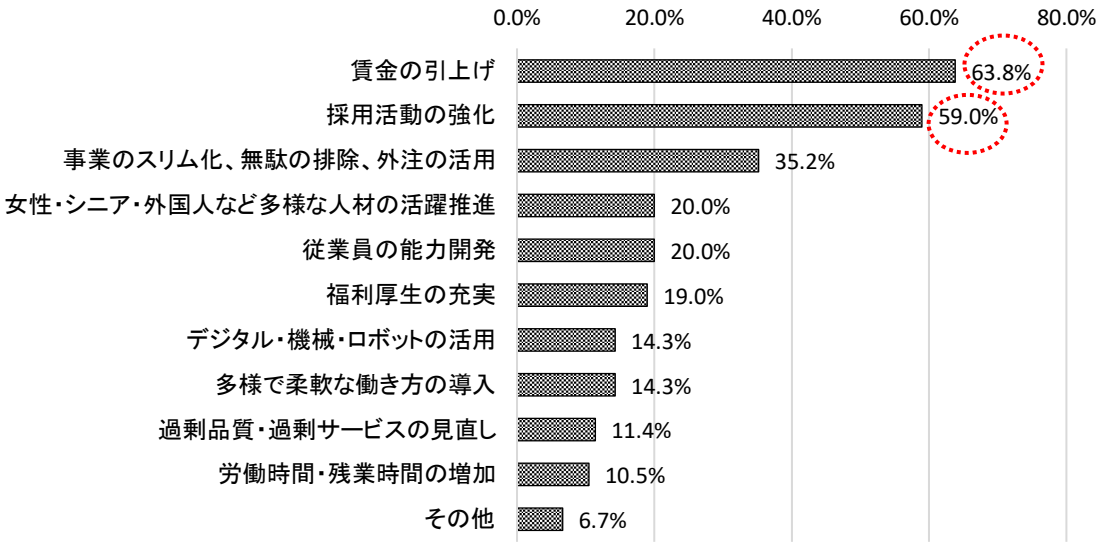
（２）貴社では人材不足への対応方法としてどのような取組を実施・検討されていますか。

人材不足への対応方法としての取組は、「賃金の引上げ」63.8％（前回調査 54.5％）、「採用活動の強化」59.0％（同 52.8％）が上位２つで、ともに半数を超えた。次いで、「事業のスリム化、無駄の排除、外注の活用」「女性・シニア・外国人など多様な人材の活躍推進」「従業員の能力開発」「福利厚生の充実」が続いた。

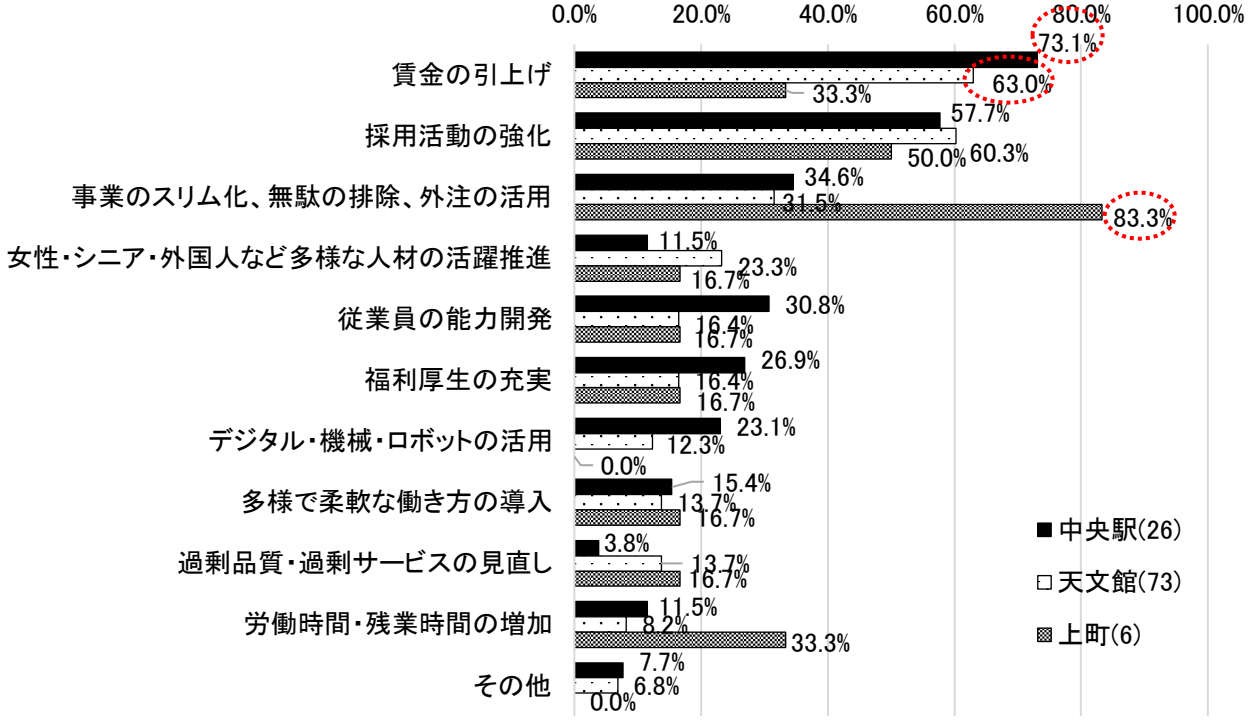
地区別には、鹿児島中央駅地区、いづろ・天文館地区では「賃金の引上げ」がそれぞれ 73.1％（前回調査 66.7％）、63.0％（同 55.1％）、上町・ウォーターフロント地区では「事業のスリム化、無駄の排除、外注の活用」が 83.3％（同 19.0％）が最多であった。

業種別には、卸・小売業、飲食・宿泊業で、「賃金の引上げ」がそれぞれ 60.0％（同 52.4％）、75.0％（同 61.5％）、その他サービス業で「採用活動の強化」57.1％（同 61.9％）で最も高い割合となっている。

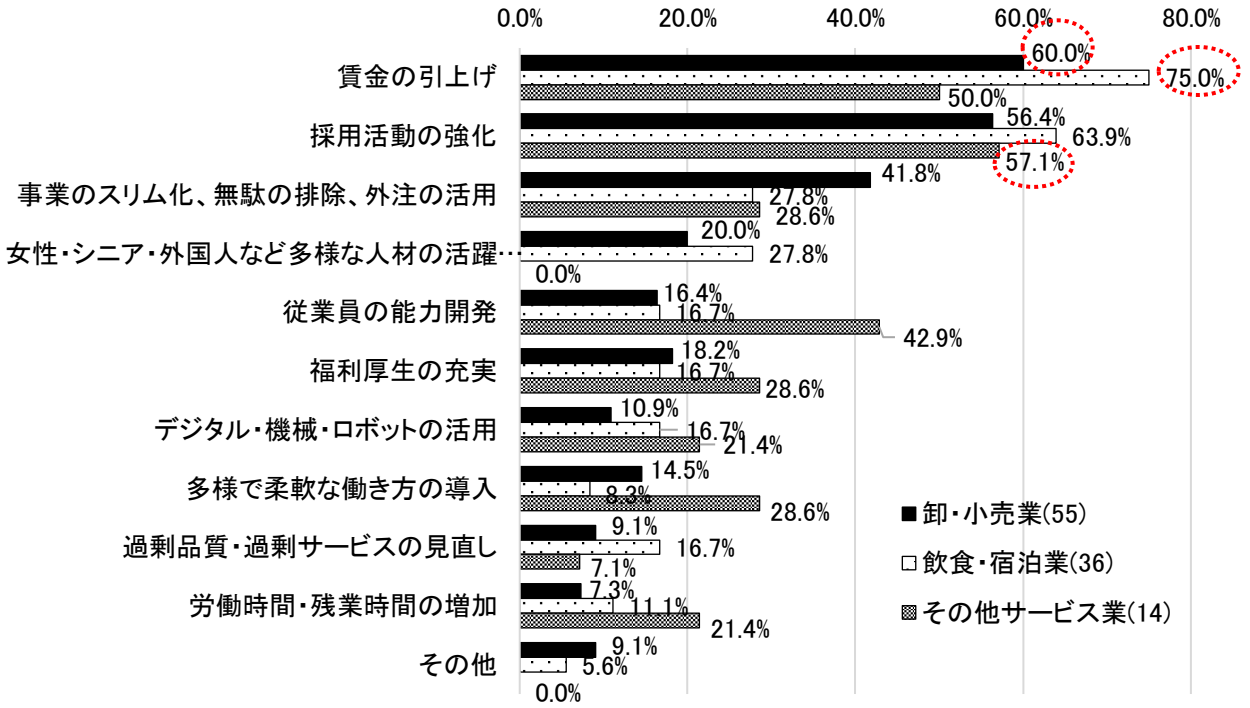
【全体】



【地区別】



【業種別】



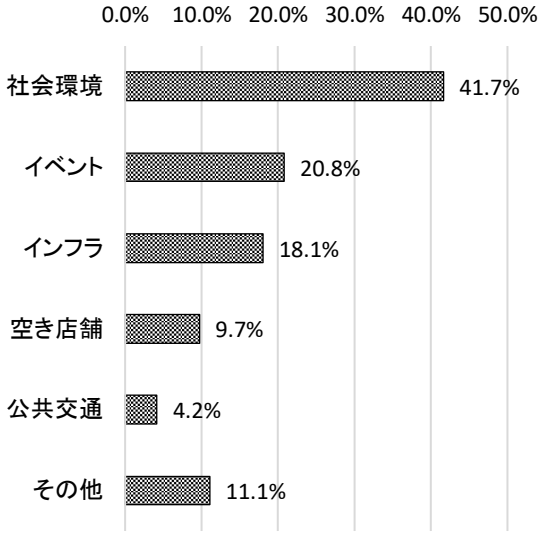
注1：中央駅＝鹿児島中央駅地区、天文館＝いづろ・天文館地区、上町＝上町・ウォーターフロント地区

注2：凡例の（　）内は回答者数

問８　貴店が所在する商店街や通り会の賑わい創出等への意見・要望等（自由記述）
（詳細は「データ編」参照）

意見・要望等に関しては 72 の商業者から回答があった。内容は様々だが、大きく社会環境に関すること 41.7％（前回調査 17.8％、イベント 20.8％（同 19.2％）、インフラ、空き店舗という順となった。

社会環境に関しては、駐車場問題（少ない、料金が高い、大型バスの駐車場整備等々）、通り会会員の高齢化や廃業による会員の減少などへの対応を求める声や観光客が増加している今こそ、鹿児島らしさを伝える工夫をする等の意見・要望がみられた。また、官民一体となった新たなまちづくりの要望も寄せられた。



【調査票】

ＦＡＸ返信先　099-227-1977
メールアドレス　shinkou@road.ocn.ne.jp
鹿児島商工会議所　産業振興部　行

鹿児島市中心市街地活性化協議会事業
（鹿児島商工会議所）TEL：099-225-9540

中心市街地のにぎわいに関する調査

地　区　名　（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

事 業 所 名　（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

回答日：令和７年　　月　　日

問１　いづろ・天文館地区、鹿児島中央駅地区、上町・ウォーターフロント地区といった中心市街地のにぎわい（人通りや活気）は、５年前と比べてどうなったと思いますか。当てはまる選択肢を**１つ**お選びください。

①（　　）活気が増している
②（　　）どちらかといえば活気が増している
③（　　）変わらない
④（　　）どちらかといえば元気がなくなってきた
⑤（　　）元気がなくなってきた

問２　中心市街地の商業面での魅力（商業施設、商店街イベント等）は、５年前と比べてどうなったと思いますか。あてはまる選択肢を**１つ**お選びください。

①（　　）魅力が向上した
②（　　）どちらかといえば魅力が向上した
③（　　）変わらない
④（　　）どちらかといえば魅力が低下した
⑤（　　）魅力が低下した

【参考】中心市街地に関する主な出来事

令和２年（５年前）	
４月	新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言・全都道府県に拡大（４/16～５/14）
10 月	加治屋まちの杜公園及び公園内カフェの供用開始、Go To Eat 食事券販売・使用開始
令和３年	
６月	鹿児島中央タワーの商業施設「Li-ka1920（ライカ 1920）」開業（６/18）
８月	新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置・鹿児島県独自の緊急事態宣言発令（～９/30）
10 月	食べて応援！鹿児島市プレミアムポイント事業（第１弾）販売・使用開始
令和４年	
１月	新型コロナウイルス感染症　まん延防止等重点措置（鹿児島県１/27～３/６）
４月	千日町１・４番街区市街地再開発ビル「センテラス天文館」開業（４/９） 食べて応援！鹿児島市プレミアムポイント事業（第２弾）販売・使用開始
10 月	照国表参道歩行者天国社会実験
令和５年	
４月	「AMU WE」開業（４/14）
５月	新型コロナウイルス感染症　感染症法上の５類に引下げ（５/８～）
６月	国際定期便（香港線）再開（６/５）
７月	「かごしま総文祭」開催（７/29～８/４）
10 月	「かごしま国体・かごしま大会」開催（10/７～10/17・10/28～10/30） 国際定期便（ソウル線）再開（10/29）
令和６年	
４月	「ドン・キホーテ鹿児島中央一番街店」開業（４/23）
５月	国際定期便（台北線）再開（５/７）
７月	〃　（上海線）再開（７/16）
８月	「アジア太平洋都市サミット」開催（８/22～８/24）
９月	加治屋町・高見馬場交差点ポケットパーク設置社会実験「やどり木パーク」開催（９/14～９/23・10/11～10/14）
11 月	マイアミフェスタ開催（11/24）
12 月	木下大サーカス鹿児島公演が開催（12/21～3/10）
令和７年	
４月	鹿児島銀行本店別館ビル前の観光バス乗降場所の運用開始（４/19）

鹿児島市中心市街地活性化協議会事業
（鹿児島商工会議所）TEL：099-225-9540

問３　中心市街地の様子は、５年前と比べてどう変わったと思いますか。下の項目からあてはまる選択肢を**１つずつ**お選びください。

項目	選択肢		
１．人通りの様子について			
(1) 人通り全般	①（　　）増えた	②（　　）変わらない	③（　　）減った
(2) 外国人観光客	①（　　）増えた	②（　　）変わらない	③（　　）減った
(3) 若者	①（　　）増えた	②（　　）変わらない	③（　　）減った
２．商店街の様子について			
(1) 魅力ある店舗	①（　　）増えた	②（　　）変わらない	③（　　）減った
(2) 空き店舗	①（　　）増えた	②（　　）変わらない	③（　　）減った
３．イベントの状況について			
(1) 商店街のイベント	①（　　）充実してきた	②（　　）変わらない	③（　　）物足りない
(2) 観光客向けのイベント	①（　　）充実してきた	②（　　）変わらない	③（　　）物足りない
４．まちの状況について			
(1) 街並み・景観	①（　　）きれいになってきた	②（　　）変わらない	③（　　）汚れてきた
(2) 公園、憩いの場	①（　　）充実した	②（　　）変わらない	③（　　）減った
(3) 交通の便	①（　　）便利になった	②（　　）変わらない	③（　　）不便になった
５．貴店の状況について			
(1) 売上	①（　　）増えた	②（　　）変わらない	③（　　）減った
(2) 人手の状況	①（　　）不足している	②（　　）変わらない	③（　　）余っている

問４　中心市街地はどんなまちであってほしいと思いますか。あてはまる選択肢を**全て**お選びください。［複数回答可］

①（　　）魅力ある店舗や飲食店があるまち
②（　　）大規模な商業施設があるまち
③（　　）イベントやお祭りが盛んなまち
④（　　）観光客でにぎわうまち
⑤（　　）歴史や文化を感じられるまち
⑥（　　）街並みや景観が美しいまち
⑦（　　）公園や広場など憩いややすらぎのあるまち
⑧（　　）安心・安全に暮らせるまち
⑨（　　）地域住民による活動が活発なまち
⑩（　　）医療・福祉施設が充実しているまち
⑪（　　）娯楽・スポーツが楽しめるまち
⑫（　　）働く場所がたくさんあるまち
⑬（　　）公共交通機関の利便性が高いまち
⑭（　　）車で来街しやすいまち

問５　その他、**中心市街地のにぎわいに必要と思われることや活性化に向けて課題となっていることなど**がありましたらお書きください。

鹿児島市中心市街地活性化協議会事業
（鹿児島商工会議所）TEL：099-225-9540

【その他　経営・環境変化等について】

問６　貴社における現在の人員の充足状況について、該当するもの１つをお選びください。

①（　　）不足している
②（　　）過不足はない
③（　　）過剰である

問７　問６にて「不足している」と回答した事業者の方へ

１）人材不足の深刻度について、あてはまる選択肢を１つお選びください。

①（　　）非常に深刻（事業運営に深刻な影響があり、廃業の恐れがある）
②（　　）深刻（事業運営に影響があり、今後の事業継続に支障が生じる恐れがある）
③（　　）それほど深刻ではない（事業運営に特段の支障はない）
④（　　）その他〈　　〉

２）貴社では人材不足への対応方法としてどのような取組を実施・検討されていますか。以下のうち、あてはまる選択肢を全てお選びください。［複数回答可］

①（　　）採用活動の強化（非正規含む）
②（　　）労働時間・残業時間の増加
③（　　）賃金の引上げ
④（　　）事業のスリム化、無駄の排除、外注の活用
⑤（　　）過剰品質・過剰サービスの見直し
⑥（　　）デジタル・機械・ロボットの活用
⑦（　　）女性・シニア・外国人材など多様な人材の活躍推進
⑧（　　）従業員の能力開発
⑨（　　）多様で柔軟な働き方の導入（テレワーク、副業・兼業など）
⑩（　　）福利厚生の充実
⑪（　　）その他〈　　〉

問８　貴店が所在する商店街や通り会の賑わい創出等のために、ご意見・ご要望等があればご自由にご記入ください。

≪ご協力ありがとうございました≫